

# GCI

## 2018 Interim Business Report

第102期 中間報告書  
平成30年4月1日～平成30年9月30日

### 群栄化学工業株式会社

証券コード：4229

## 01 トップインタビュー



## 03 連結決算ハイライト



## 05 ニュース& トピックス



## 06 CSRへの 取り組み





代表取締役 社長執行役員  
有田 喜一郎

## 新市場開拓・新製品開発を推進し、 「製品＋ソリューション」の提供へ。

このたび日本各地を襲った集中豪雨と台風、地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

### Q 上期の営業状況と決算内容をご説明願います。

A 化学品事業は、住宅向けの需要が弱含みとなりましたが、前期に引き続き電子材料向け樹脂および自動車向け樹脂が好調に推移し、前年同期比で7億48百万円の売上増となりました。特に、IoT関連機器や自動車用センサなどに用いられる先端材料の需要が増加しており、群馬工場および滋賀工場では、生産体制の増強を継続しています。一方で利益面は、償却負担の増加に加え、原材料価格や物流費の上昇による影響が大きく、想定以上の減益となりました。

ASEAN展開を担うタイ子会社は、日本国内とほぼ同様の営業状況で、売上高は堅調を維持したものの、原材

料価格の上昇が響いています。先行投資段階にあるインド子会社は、RCS(レジンコーテッドサンド)の生産体制を増強し、来期からの拡販に向けた準備を整えました。

食品事業は、従来の汎用品主体から機能性製品へのシフトを推進すべく、食品アプリケーションの開発やレシピ提案を行う「GCIプラザ」のレベルアップを図るとともに、Webコンテンツ「糖Lab. (ラボ)」を開設し、情報発信を強化するなどプル型の営業アプローチも行っています。しかしこの上期は、夏場の猛暑が清涼飲料水の売れ行きにマイナス影響を与え、飲料向け異性化糖の販売が苦戦したことから、食品事業の売上高は、前年同期比で70百万円の減少となりました。また利益面においても、輸入でんぷん価格の高止まりが続くなど、厳しい状況となりました。

以上により上期の連結業績は、売上高137億30百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益9億6百万円（同27.1%減）、経常利益10億7百万円（同27.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億3百万円（同28.4%減）となりました。

## Q 今後の事業展開に向けた動きをお聞かせください。

**A** 当社は近年、新たな成長機会の獲得に向けて、それまでの専門性重視による製品分野ごとに細分化した体制を転換し、「営業・マーケティング本部」を中心にマーケティングを重視したソリューション提案に注力しています。

今年6月には、その取り組みをさらに促進すべく、「営業・マーケティング本部」と「開発本部」を組織改編し、同時に「製造本部」と「管理本部」を合わせた4本部全てに執行役員を置く機構改革を実施しました。今後は、執行役員が各本部の業務に責任を持ち、迅速に課題解決を行うとともに、社内の横串を強化した新市場開拓・新製品開発の推進体制を確立し、「製品＋ソリューション」を提供できるメーカーを実現していきます。

また新たな動きとして、これまで三井化学株式会社から製造受託していたブレーキ用特殊フェノール樹脂「ミレックス」について、今年7月に同社より製造・販売事業を譲受しました。そして同8月には、「ミレックス」の戦略市場と位置付ける米国内の日系および現地ブレーキメーカーに対応するため、米国イリノイ州に販売子会社を設立しました。米国全土に展開する本格的な稼働は来期からとなりますが、日本国内の開発・製造体制と連携し、将来的にはブレーキ用途以外の販売拠点としても機能させたいと考えています。

## Q 下期の展望と通期の見通しはいかがですか？

**A** 化学品事業の営業状況は、下期においても電子材料向け樹脂および自動車向け樹脂を中心に堅調を維持していくと見込んでいますが、原材料価格および物流費の上昇が依然として懸念される状況です。当社では、増強した先端材料の生産キャパシティをフルに活かし、また社内評価体制の拡充により顧客企業のニーズに的確にこたえていくことで、業績の底上げを図っていきます。

食品事業は、当期における黒字確保が厳しい状況ですが、機能性食品関連材料の提案・拡販をさらに強化し、収益性の向上につなげていきます。

通期の連結業績については、期初の計画値を変更せず、売上高280億円（前期比6.1%増）、営業利益20億円（同18.7%減）、経常利益21億円（同22.5%減）、親

会社株主に帰属する当期純利益13億円（同17.9%減）を予想しています。

## Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 今回の中間配当は、予定通り1株当たり40円を実施いたしました。期末配当についても同額を予定しており、年間配当額を80円（前期同額）とさせていただきます。

本誌6ページにご報告の通り、当社はCSR（企業の社会的責任）活動への取り組みをお伝えする「CSR情報ページ」をウェブサイト内に開設しました。社会との共存・共栄を目指す当社は、産業の発展や人々の豊かな生活を支える化学品および食品の提供、開発・生産における環境保全、群馬工場および滋賀工場を中心とする地域との交流や美化・清掃、現地経済の活性化や雇用に寄与するタイ・インド展開など、事業を通じた社会貢献について認識を深め、これまで以上に積極的な取り組みを進めていく方針です。

当社の事業展開は、短期の飛躍的な急成長を見込むものではありません。長期的・持続的な安定成長を実現すべく、地に足を付けた堅実な取り組みを重ねながら、社員のレベルアップとともに競争力を高め、企業価値を向上させてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 連結決算ハイライト（当中間期の業績）

売上高  
**13,730百万円**  
(前年同期比5.2%増)



経常利益  
**1,007百万円**  
(前年同期比27.1%減)



親会社株主に帰属する四半期純利益  
**703百万円**  
(前年同期比28.4%減)



### 業績のポイント

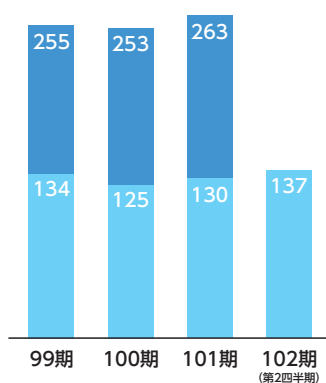
ポイント 1

事業環境の変化に対応したきめ細かい技術サポートや製品の高付加価値化を積極的に進め増収。

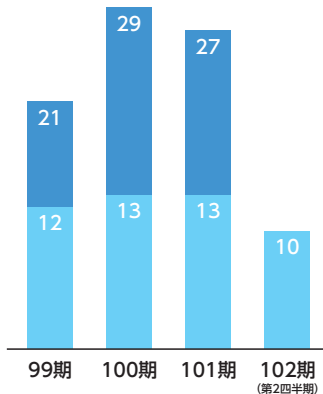
ポイント 2

償却負担の増加や原材料価格の上昇等の影響を受け、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は減益。

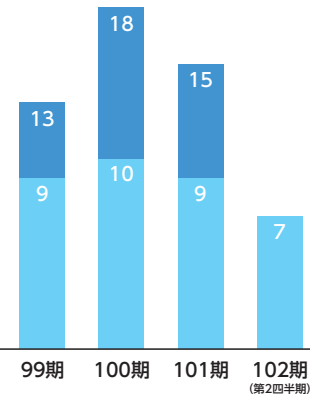
売上高 (単位:億円)



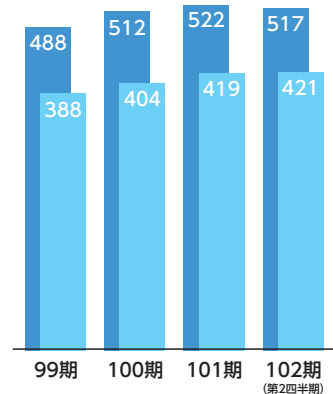
経常利益 (単位:億円)



親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益 (単位:億円)



総資産 純資産 (単位:億円)



## 連結財務諸表

## Consolidated Financial Statements

### 連結貸借対照表（要約）

(単位:百万円)

| 科 目          | 当第2四半期<br>連結会計期末<br>(平成30年9月30日現在) | 前期末<br>(平成30年3月31日現在) |
|--------------|------------------------------------|-----------------------|
| <b>資産の部</b>  |                                    |                       |
| 流動資産         | 20,094                             | 21,667                |
| 固定資産         | 31,689                             | 30,537                |
| 有形固定資産       | 18,745                             | 18,297                |
| 無形固定資産       | 743                                | 31                    |
| 投資その他の資産     | 12,201                             | 12,209                |
| 資産合計         | 51,784                             | 52,205                |
| <b>負債の部</b>  |                                    |                       |
| 流動負債         | 6,578                              | 6,894                 |
| 固定負債         | 3,025                              | 3,356                 |
| 負債合計         | 9,603                              | 10,250                |
| <b>純資産の部</b> |                                    |                       |
| 株主資本         | 39,140                             | 38,723                |
| 資本金          | 5,000                              | 5,000                 |
| 資本剰余金        | 25,690                             | 25,690                |
| 利益剰余金        | 13,922                             | 13,496                |
| 自己株式         | △5,472                             | △5,463                |
| その他の包括利益累計額  | 1,679                              | 1,847                 |
| 非支配株主持分      | 1,361                              | 1,383                 |
| 純資産合計        | 42,180                             | 41,954                |
| 負債・純資産合計     | 51,784                             | 52,205                |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書（要約）

(単位:百万円)

| 科 目              | 当第2四半期連結累計期間<br>(自平成30年4月1日<br>至平成30年9月30日) | 前第2四半期連結累計期間<br>(自平成29年4月1日<br>至平成29年9月30日) |
|------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高              | 13,730                                      | 13,052                                      |
| 売上原価             | 11,056                                      | 10,022                                      |
| 売上総利益            | 2,673                                       | 3,029                                       |
| 販売費及び一般管理費       | 1,767                                       | 1,785                                       |
| 営業利益             | 906                                         | 1,244                                       |
| 営業外収益            | 137                                         | 152                                         |
| 営業外費用            | 36                                          | 14                                          |
| 経常利益             | 1,007                                       | 1,381                                       |
| 特別利益             | 1                                           | 10                                          |
| 特別損失             | 30                                          | 13                                          |
| 税金等調整前四半期純利益     | 978                                         | 1,378                                       |
| 四半期純利益           | 764                                         | 1,028                                       |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 703                                         | 982                                         |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ●ホームページのご案内

ホームページでは、当社の企業活動全般の情報や、株主・投資家の皆様向けの情報として、決算発表資料等を適時掲載しております。

群栄化学

検索

<https://www.gunei-chemical.co.jp>

## 化学品事業

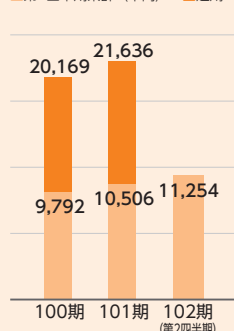
合成樹脂・高機能繊維の製造及び販売

- ▶ 電子材料向け樹脂をはじめ、自動車向けや建設機械向けも堅調に推移

売上高 **11,254**百万円  
(前年同期比7.1%増)

営業利益 **954**百万円  
(前年同期比13.1%減)

売上高 (単位: 百万円)  
■ 第2四半期累計 (中間) ■ 通期



## ■ 高機能繊維「カインール」



「フェノール樹脂」を繊維にした高機能繊維「カインール」は、宇宙開発の研究から生まれ、当社が世界で唯一製造・販売しています。

防炎性、耐熱性、断熱性、耐薬品性などの特長を有し、防災・安全用途や各種複合材に用いられるほか、活性炭繊維の優れた吸着性は溶剤回収用途等の環境調和分野にも使用されています。

## 当社の主要製品

## ■ 工業用フェノール樹脂「レドトップ」



電子半導体材料・自動車産業・住宅産業などあらゆる産業分野に不可欠な機能材料として使用されています。

## 主な用途

電子材料産業においては、シリコンウェハーに回路を形成する際に用いられるフォトリソグレイブや半導体封止剤などに「フェノール樹脂」が活用されています。自動車等の各種鋳物産業においては、鋳物の鋳造に使われる砂型のバインダとして、「フェノール樹脂」は鋳造業界で欠かせない存在となっています。



住宅産業においては、ガラス繊維に「フェノール樹脂」を吹き付けてできる繊維マットが断熱・防音材として用いられるなど、住宅の施工に広く使われています。

## ■ 3Dプリンタ用材料

3Dプリンタは世界各国で国家プロジェクトにより活発な開発が進められ、将来の新たな製造方法として大きな注目を集めています。当社は日本の国家プロジェクトで、鋳造用バインダ開発という重要な役割を担っています。また、高耐熱プラスチック材料製品を自社開発し、製造販売及び成形品の提案も行っています。

## 食品事業

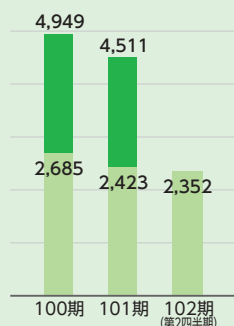
でんぷん糖類の製造及び販売

- ▶ 夏場の猛暑の影響を受け、異性化糖が伸び悩み低調に推移

売上高 **2,352**百万円  
(前年同期比2.9%減)

営業損失 **131**百万円  
(前年同期比 -)

売上高 (単位: 百万円)  
■ 第2四半期累計 (中間) ■ 通期



## ■ 保水性糖質素材「ピュアトース®」

「ピュアトース®」は、主成分であるマルトトリアースが水を保持しやすい構造をしており、このため食品中の水を安定化させます。その結果、和菓子や洋菓子に対し、しっとり感を付与し、でんぷんが老化して硬くなる現象を抑制し、素材の風味を向上させることができます。現在、本品はこれらの用途で幅広く利用されています。



## 当社の主要製品

## ■ スリーシュガー (JAS果糖ぶどう糖液糖 / JASぶどう糖果糖液糖)

JAS果糖ぶどう糖液糖 (果糖分55%)、JASぶどう糖果糖液糖 (果糖分42%)、そしてこれらに砂糖を混合した異性化糖製品があります。砂糖よりさわやかで保湿性も高く、食品を新鮮に保つことができます。また、冷たいほど甘味が強くなるので、清涼飲料や冷菓に最適です。

## ■ コーングル群栄 (JAS精製ぶどう糖)

JASの基準に合致した、高品質、高純度のぶどう糖です。砂糖や果糖とも相性よくとけあい、栄養価が高く、直接体内に吸収されるため、すぐれたエネルギー源となります。各種菓子類をはじめ、水産練製品、酒類、医薬品など、幅広くご使用いただけます。

## ■ 酵素水飴

当社独自の技術で製造された水飴は、ほどよい甘みと独特の粘りが特徴で、菓子などのデリ、ツヤ、コクを出すのに最適です。見た目のおいしさがアップするだけでなく、菓子類の日持ちをよくします。

## ■ グンエイオリゴS

単糖が数個結びついたオリゴ糖は、人間の消化酵素ではこの結合を切ることができないために大腸に到達し、代表的な善玉菌のビフィズス菌の増殖を助けます。当社のイソマルトオリゴ糖は、こうした生理効果を有しながら、うま味、コク味をもち、健康ニーズにお応えしています。

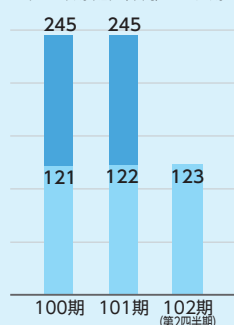
## 不動産活用業

- ▶ 前年同期並みで堅調に推移

売上高 **123**百万円  
(前年同期比0.7%増)

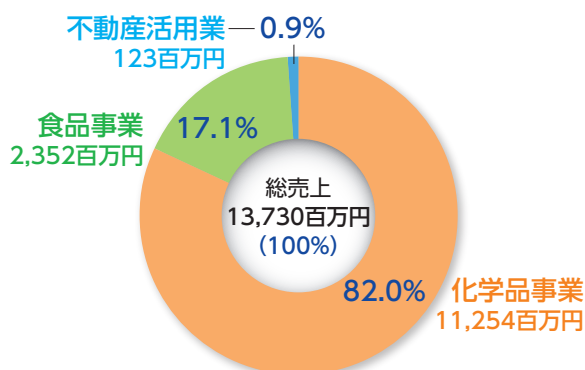
営業利益 **83**百万円  
(前年同期比1.3%増)

売上高 (単位: 百万円)  
■ 第2四半期累計 (中間) ■ 通期



## 事業別売上高構成(連結)

平成30年4月1日～平成30年9月30日



事業拡大への取り組み

3Dプリンタ用途製品 専用工場の建設

当社は、産官学による国家プロジェクト「超精密三次元造形システム技術開発プロジェクト」に本年3月まで5年間参画してまいりました。このプロジェクトは、「ものづくり産業の基盤技術である鋳造の生産プロセスの革新的技術開発を行い、これまでにない軽量・高剛性の超複雑形状鋳造製品を一体成型で製造できるようにする」ことをその目的としております。本プロジェクトでの当社の役割は、積層用の砂と、その砂を固めるバインダの開発でしたが、目標とする高速化、高精度化を満たす材料の開発に成功しました。当社では3Dプリンタ分野における今後の需要拡大に対応するため、現在、専用工場を建設中です。



電子材料用途製品 新工場の稼働開始

当社は、電子材料用フェノール樹脂分野において業界トップの生産能力を有しております。

当社では、同分野での需要拡大に応えると共に、最先端分野でのシェア確保のため新工場の稼働を開始いたしました。また、電子材料分野で求められる極めて高い品質要求に応えるため、最先端分析設備の稼働も開始いたしました。今後、最先端の工場、及び分析設備を大いに活用し、同分野での更なる事業拡大を目指してまいります。



最新型分析装置  
ICP-MS/MS

『食品開発展2018』に出展  
10/3～5東京ビッグサイトにて開催された食品開発展  
2018に出展いたしました。

今回、当社では新製品の米あめ、もちソースを中心に展示を行いました。

当社米あめは、既存製品の持つ自然の味・香りはそのままに、既存製品にはない低粘度、及び安定供給を可能とした古くて新しい製品です。会場では、米あめアイスと米あめパンの試食提案を行い、「香料不使用なのに、香りもよく、濃厚なコクでおいしいアイス」、「保存料無しなのに製造後3日目の食パンとは思えないしっとり感」などご好評をいただきました。

もちソースは、もち粉にピュアトースを添加した新製品で、冷菓用途への市場展開を目指しております。会場ではもちソースon抹茶アイスの試食提案を行い、「冷凍しても固くならない餅」「低甘味でスッパリとした甘さ」と、こちらもご好評でした。

当社では今後も本展示会等を通じて新製品の販売に力を注ぎ、更なる事業拡大を目指してまいります。



## 社会との共存・共栄を目指す活動を詳細報告

## ウェブサイトにCSR情報ページをオープン!

より豊かな未来社会創りへの貢献を理念に掲げる当社は、CSR（企業の社会的責任）活動への取り組み状況をステークホルダーの皆様にお伝えすべく、このたびウェブサイト内にCSR情報ページを開設しました。掲載コンテンツは、「株主様」「お客様」「環境」「地域・社会」「従業員」のステークホルダー別に整理し、活動内容を紹介しています。ぜひアクセスいただき、当社の取り組みにさらなるご関心をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト「トップページ」  
[www.gunei-chemical.co.jp](http://www.gunei-chemical.co.jp) より  
 > 「企業情報」 > 「CSR」へ



[www.gunei-chemical.co.jp/company/csr.html](http://www.gunei-chemical.co.jp/company/csr.html)



各ステークホルダーに対して、当社が何を約束し、その方針に沿ってどのような活動に取り組んでいるか、詳細に把握できるように情報を集約しました。引き続き掲載コンテンツの拡充に努めてまいります。

化学品事業・食品事業を通じた当社の社会価値創造について、わかりやすくイラスト化しました。快適な暮らしと産業の発展を支える当社事業の広がりを直観的に把握することができます。

当社のCSR活動が「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成において、17項目の目標のうち、どのテーマに関連するか、コンテンツごとのアイコン表示により一目でわかります。

## 会社の概要

|      |                                                  |
|------|--------------------------------------------------|
| 商号   | 群栄化学工業株式会社<br>Gun Ei Chemical Industry Co., Ltd. |
| 設立   | 昭和21年1月23日                                       |
| 資本金  | 50億円                                             |
| 従業員数 | 480名(連結)                                         |

## 役員

|                 |        |       |       |
|-----------------|--------|-------|-------|
| 代表取締役会長         | 有田 喜一  | 常勤監査役 | 湯浅 快哉 |
| 代表取締役<br>社長執行役員 | 有田 喜一郎 | 監査役   | 二宮 茂明 |
| 取締役             | 岩淵 滋   | 監査役   | 塚田 和男 |
| 取締役             | 田村 正明  |       |       |

(注) 取締役 岩淵滋、田村正明の両氏は社外取締役であります。  
監査役 二宮茂明、塚田和男の両氏は社外監査役であります。

## 株式情報

## Stock Information

(平成30年9月30日現在)

## 株式の状況

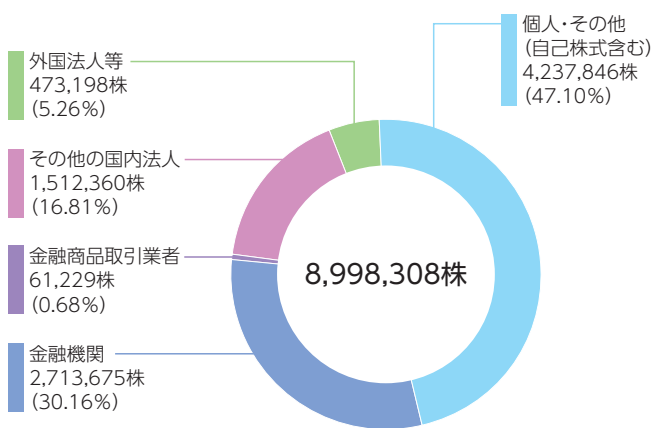
|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 17,621,100株 |
| 発行済株式総数  | 8,998,308株  |
| 株主総数     | 5,708名      |

## 大株主

| 株主名                     | 持株数(株)  | 持株比率(%) |
|-------------------------|---------|---------|
| 三井化学株式会社                | 618,500 | 8.93    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 500,500 | 7.22    |
| 群栄化学取引先持株会              | 484,442 | 6.99    |
| 株式会社群馬銀行                | 304,512 | 4.39    |
| 株式会社横浜銀行                | 245,853 | 3.55    |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社           | 232,700 | 3.36    |
| 東京応化工業株式会社              | 168,330 | 2.43    |
| 株式会社みずほ銀行               | 160,537 | 2.32    |
| 有田喜一                    | 159,366 | 2.30    |
| 株式会社三井住友銀行              | 158,407 | 2.29    |

(注) 持株比率は、自己株式(2,068,394株)を控除して計算し、小数点第3位を四捨五入しております。

## 所有者別株式分布状況(株式数)



(注) 持株比率は、小数点第3位を四捨五入しております。

## 株主メモ

|              |                                                                                                                                                   |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度         | 4月1日から翌年3月31日                                                                                                                                     |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日                                                                                                                                             |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日                                                                                                                                             |
| 定時株主総会       | 毎年6月                                                                                                                                              |
| 株主名簿管理人      | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                     |
| 特別口座の口座管理機関  |                                                                                                                                                   |
| 同連絡先         | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1-1<br>電話0120-232-711 (通話料無料)<br>郵送先<br>〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部                            |
| 上場証券取引所      | 東京証券取引所                                                                                                                                           |
| 公告方法         | 電子公告 URL <a href="https://www.gunei-chemical.co.jp">https://www.gunei-chemical.co.jp</a><br>ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載 |
| 幹事証券         | 野村證券株式会社<br>みずほ証券株式会社<br>SMBC日興証券株式会社                                                                                                             |

(お知らせ)

## 1 ご注意

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 2 中間配当金計算書について

同封いたしております「中間配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。なお、配当金を証券口座でお受取り(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

## 3 マイナンバーのお届出について

平成28年1月より利用開始されたマイナンバーですが、こちらは株式の税務関係手続きでも必要となります。このため、株主様はお取引の証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いいたします。

## 【株主様のマイナンバーの利用用途】

税務署に提出する支払調書(※)への記載

※配当金等に関する支払調書

単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

## 【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】

●証券口座にて株式を管理されている株主様  
お取引の証券会社までお問い合わせください。

●証券会社とのお取引がない株主様  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-232-711 (通話料無料)